

# 日 身 連

発行所  
 社会福祉法人  
 日本身体障害者団体連合会  
 (中央障害者社会参加推進センター)  
 発行人 小川 榮  
 東京都豊島区目黒3丁目4の3  
 テアタンクビル4階  
 TEL03-3565-3399(0)  
 FAX03-3565-3349  
<http://www.nissinren.or.jp>  
 Japanese Federation of  
 Organizations of the  
 Disabled Persons (JFOD)  
 年間購読料 正会員1部 300円  
 非会員1部 1000円

## 第57回日本身体障害者福祉大会 さいたま大会開催

「一彩の国から発信！ 実現しよう！ 障害者を保護の客体から権利主体の社会へ」をテーマに開催された第57回日本身体障害者福祉大会さいたま大会・埼玉協創立60周年記念大会は、17日(木)は「ラフレさいたま」で評議員会・政策協議等があり、17日(金)は大会の式典・議事が「彩の国くまがやドーム」で行われました。今号では評議員会と講演・政策協議についてお伝えし、次号で大会の開催内容の詳細を掲載します。

### 講演・政策協議で活発な議論

5月17日(木)午後は、「ラフレさいたま」において、基調講演と政策協議の各プログラムが開催されました。

はじめに、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長の土生栄二氏から、「障害保健福祉施策の動向」をテーマに基調講演をいただきました。土生課長は、まず東日本大震災における厚生労働省の対応について報告され、次に障がい者制度改革推進会議等の状況について、これまでの経緯、骨格提言、障害者総合支援法案の概要について述べられました。また、相談支援の連携体制の整備における身体・知



的障害者相談員との連携についても触れられました。

休憩をはさみ後半のシンポジウムでは、「障害者総合支援法案の課題と展望について」と題して、2月8日の厚生労働省案から民主党WTの検討を経て作成された障害者総合支援法案に対する見解と、成立に向けて極めて重要な国会審議について、法案の課題等を含めて、与野党の先生方に語っていただきました。シンポジストには、与野党の障害福祉関連の審議の中心的存在である初鹿明博 民主党衆議院議員、衛藤晟一 自民党参議院議員、高木美智代 公明党参議院議員を迎え、尾上浩二 総合福祉部会副部長( DP 日本会議事務局長)と森祐司 総合福祉部会構成員(日身連常務理事・事務局長)が加わり、3つのテーマ(1. 障害者総合支援法案に対する政党の考えについて 2. 障害者団体からみた障



初鹿明博

衛藤晟一

高木美智代



害者総合支援法案に対する課題について) 3. 障害者総合支援法案の展望について) に沿って、報告や提言が出され、それを受けてコメントターの東俊裕 障がい者制度改革推進会議担当室長に、各テーマ毎の簡単なコメントと、会の最後に全体のまとめをしていただきました。

会場からは、①報酬の支払い方式の見直しの検討、②地域生活支援事業の地域間格差解消の検討、③本人単位による利用者負担のあり方の検討、④通学における移動の支援のあり方について、指定発言がありました。

最後に進行役を務めた、松井逸朗 日身連障害者施策等に関する検討委員会委員長(岐阜県身体障害者福祉協会会長)より、「国会でご多忙の中お越しいただき、私たちにしっかりと向き合っていたいただき、私たちに先生方に改めて御礼申し上げます。この法案は与野党3党合意の法案です。1日も早い成立を望んでいます。また、附則の検討規程の重要性は無論のこと、支援費制度以降、度重なる法の改変により、私たちは混乱と不安に苛まれてきました。ぜひ、これを払拭するような安定した制度づくりを目指してほしいと思います」と締めくくりました。